

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
共通教育科目	108	1年	後期	看護学科	選択	社会学 Sociology	30	2
担当教員								
小松 洋*								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
○	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
○	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
○	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
履修者は次の1)から3)を学び、4)を実践する。 1)社会学による社会現象の捉え方 2)社会の変化に伴い、家族や地域社会の在り方が大きく変容してきたこと 3)医療を含む社会制度の在り方 4)以上を踏まえて、人間生活や社会と医療従事者の役割および地域医療の意義について考察・理解する。								
到達目標（授業目標）								
①社会学による現代社会と医療のとらえ方を理解できる ②現代社会における医療従事者の役割について社会的な観点から把握できる。 以上2点が目標である。								
回 授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	人間と社会：人間とはなにか、社会的弱者とは、個人と社会							
2回	家族：家族の歴史的発展、現代家族の諸問題、生活設計と社会福祉							
3回	地域社会：地域社会における生活とその変化、地域社会の発展、農村社会と都市社会、地域社会における保健・医療・福祉							
4回	職業と職場集団：職業と社会、経営体と職場集団、医療集団							

